

2月13日(日)

第1会場

16:30~18:00 パネルディスカッション

2階 講堂

デバイス電磁干渉問題周辺の動向

【概要】

「ペースメーカー等の医療機器への影響を防ぐために、携帯電話の電源をお切り下さい。」

公共交通機関で、このようなアナウンスを聞くのは日本のみといわれている。このアナウンスの背景には、様々な人々の活動が隠れており、これを単純に批評することはできない。しかし、日本では一般の人も含めて、心臓治療植込みデバイスに対する電磁干渉に関心を寄せている人々は少なくない。国際的に見ても、日本では総務省が、この10年間、毎年様々な電波を発射する機器の影響を検討してきている。

それらの流れの中で、どのようにしたら、デバイスに対する電磁干渉を、科学的かつ合理的に評価できるかという議論を聞く機会は少ない。また一見同じような装置に見えても、電磁干渉の影響の出方が大きく異なる装置を作れることも知られていない。本セッションでは、患者さんたちが、電磁干渉をどのように受け止めているのか、電磁干渉の生じる根本原因はどこにあるのか、それを科学的に評価する方法はどのようなものか、そしてデバイスへの電磁干渉を軽減できる電波等の発射方法はあるのか等について討議していただく。

〔座長〕 杉浦 敏文 静岡大学電子工学研究所
中島 博 板橋中央総合病院心不全不整脈科

1. 患者にとってのEMI問題（電話相談+アンケート）

日本メドトロニック株式会社 ○清水 咲野, 山下 一則, 砂川 和彦

2. EMIのメカニズムと実例

日本不整脈学会電磁波干渉/不具合に関する検討委員会 ○豊島 健

3. EMI評価法の標準化（ファントムの注意点+改良点）

日本不整脈学会電磁波干渉/不具合に関する検討委員会委員 ○藤本 裕, 豊島 健, 中島 博,
野島 俊雄

4. EMI緩和法の提案

北海道大学情報科学研究科メディアネットワーク専攻
情報通信システム学講座 ○河村 由文, 日景 隆, 野島 俊雄

5. ディスカッション